

大阪科学・大学記者クラブ 御中

2022年1月14日
大阪市立大学
大阪市博物館機構
大阪市文化財協会

大阪市立大学×大阪市博物館機構×大阪市文化財協会
包括連携協定企画

博学連携シンポジウム

「おおさかを描く、おおさかで描く ～大坂/阪 画壇再考～」

大阪市立大学・大阪市博物館機構・大阪市文化財協会は、2022年3月5日(土)に、博学連携シンポジウム「おおさかを描く、おおさかで描く ～大坂/阪 画壇再考～」を開催します。今年のシンポジウムは美術をテーマとし、2月2日(水)開館予定の大阪中之島美術館の学芸員も登壇します。

近世の大坂、近代の大阪で活躍をした絵師や画家たちについては、通常「大坂/阪 画壇」と称され、近世のそれに関してはある関心が払われてきましたが、近代以降となるとほとんど研究がないのが現状です。

本シンポジウムでは、大坂/阪 画壇の近世、近代、そして現代までを視野に入れ、改めてこれを考える試みを行います。まずは、大坂/阪で描かれた美術作品に関する研究の現状(問題点)を提示した上で、近世、近代、そして現代までの「大坂/阪 画壇」作品の魅力や現在における研究状況について各登壇者が語ります。

ぜひ皆さまに広くご周知いただきますようお願いします。

- 日 時: 2022年3月5日(土) 12:50～16:50 (受付 12:20より)
- 場 所: 大阪歴史博物館 4階 講堂 (大阪府大阪市中央区大手前4丁目1-32)
- 対 象: どなたでも
- 定 員: 110名(事前申込要・先着順)
- プログラム:

開会あいさつ <12:50～13:00>

宮野 道雄 (大阪市立大学学長補佐・地域連携センター所長)

報告 <13:00～15:50>

大坂画壇研究の経緯と現状

中谷 伸生 (関西大学名誉教授)

近世大坂の写生画系の絵師について

岩佐 伸一 (大阪歴史博物館学芸員)

“大大阪”時代と葛藤する画家たち -近代大阪画壇研究の課題

橋爪 節也 (大阪大学総合学術博物館/大学院文学研究科教授)

「浪花百景」と上方浮世絵

菅原 真弓 (大阪市立大学大学院文学研究科教授)

現代の美術と大阪 -大阪中之島美術館のコレクション・活動を中心に-

清原 佐知子 (大阪中之島美術館学芸員)

討議 <15:50～16:45>

「大坂/阪画壇」研究のこれから

閉会あいさつ <16:45～16:50>

菅谷 富夫 (大阪中之島美術館館長)

●参加費：無料

●申込方法：以下のいずれかの方法でお申込みください。（それぞれに定員を設けています）

【Web申し込み】 2022年2月28日（月）まで

大阪市立大学 Web サイト <https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/openlectures/view/441>

※『osaka-cu.ac.jp』のドメインからのメールを受信できるよう設定をお願いいたします。

※お申し込み後 24 時間経っても申込完了メールが届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【往復はがき申し込み】 2022年2月15日（火）まで（当日消印有効）

①住所 ②氏名（ふりがな） ③連絡先電話番号を記入し、返信面に返信先住所・宛名をご記入の上、下記に送付してください。

《申込先》 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学 地域連携センター 「おおさかを描く、おおさかで描く」係

※定員に達し次第締切となります。

※Web 申し込み1回につき1名様、はがき1通につき1名様のお申し込みとなります。

●その他：

本講座は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて開催いたします。

また、感染の状況により、オンライン開催などへの変更または中止となる可能性があります。

【本件に関する問い合わせ先】

大阪市立大学 地域連携センター（担当：松田・井上）

TEL： 06-6605-3504

E-mail：kouza-shidai@ado.osaka-cu.ac.jp

大阪市立大学・大阪市博物館機構・大阪市文化財協会 包括連携協定企画

博学連携シンポジウム

おおさかを描く、 おおさかを描く、 大坂／阪画壇再考

近世の大坂、近代の大坂で活躍をした絵師や画家たちについては、通常「大坂／阪画壇」と称され、近世のそれに関しては一定の関心が払われてきた（大阪市立美術館編『近世大坂画壇』同朋舎、など）が、近代以降となるとほとんど研究がないのが現状である（中谷伸生『大坂画壇はなぜ忘れられたのか 岡倉天心から東アジア美術史の構想へ』）。

そこで本シンポジウムでは、大坂／阪画壇の近世、近代、そして現代までを視野に入れ、改めてこれを考える試みを行う。まずは、大坂／阪で描かれた美術作品に関する研究の現状（問題点）を提示した上で、近世、近代、そして現代までの「大坂／阪画壇」作品の魅力や現在における研究状況について各登壇者に語ってもらうこととしたい。

大阪市パノラマ地図 1924年 大阪歴史博物館蔵

日時 2022年 3 / 5 土 12:50~16:50
受付12:20より

会場 大阪歴史博物館 4階講堂
大阪市中央区大手前4-1-32
Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目駅」②号・⑨号出口

定員 110名 参加費 無料 対象 どなたでも
(事前申込要/先着順)

主催 大阪市立大学・大阪市博物館機構・大阪市文化財協会
共催 大阪市立大学大学院文学研究科・大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター

開会挨拶 12:50~13:00

報告 13:00~15:40

中谷 伸生 関西大学名誉教授
大坂画壇研究の経緯と現状

岩佐 伸一 大阪歴史博物館学芸員
近世大坂の写生画系の絵師について

橋爪 節也 大阪大学総合学術博物館 / 大学院文学研究科教授
“大大阪”時代と葛藤する画家たち—近代大阪画壇研究の課題
【休憩】

菅原 真弓 大阪市立大学大学院文学研究科教授
「浪花百景」と上方浮世絵

清原佐知子 大阪中之島美術館学芸員
現代の美術と大阪—大阪中之島美術館のコレクション・活動を中心に—
【休憩】

討議 15:50~16:45

「大坂 / 阪画壇」研究のこれから

閉会挨拶 16:45~16:50

〔参加お申し込み方法〕下記のいずれかの方法でお申し込み下さい（それぞれに定員を設けています）

●Web 申し込み 2022年2月28日（月）まで

<https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/openlectures/view/441>

※お申し込み後24時間経っても申込完了メールが届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
※携帯キャリアメールを使用する場合は、「osaka-cu.ac.jp」ドメインからの申込完了メールを受信できるよう設定してください。

●往復はがきでの申し込み 2022年2月15日（火）まで（当日消印有効）

①住所、②氏名（ふりがな）、③連絡先電話番号を記入し、返信面に返信先住所・宛名をご記入の上、下記宛先までお申し込みください。
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学 地域連携センター
「おおさかを描く、おおさかで描く～大坂 / 阪画壇再考～」係

【注意事項】

- ・定員に達し次第締切となります。
- ・Web 申し込み 1回につき1名様、はがき1通につき1名様のお申し込みとなります。
- ・お申し込みの際にお伺いした個人情報は事務連絡やイベントのご案内のみに使用します。利用目的以外には一切使用いたしません。

〔お問い合わせ〕大阪市立大学 地域連携センター

TEL: 06-6605-3504 (平日 9:00 ~ 17:00) E-mail: kouza-shidai@ado.osaka-cu.ac.jp



※本講座は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催いたします。また、感染の状況により、オンライン開催に変更または中止となる可能性があります。
※2022年2月2日に開催する大阪中之島美術館では、明治から現代までの大阪をテーマにした「みんなのまち大阪の肖像」展（4/9より）をはじめ、大阪に関連の深い展覧会を2022年度に3本開催いたします（詳しくは<https://naka-art.jp/>）。大阪市博物館機構の6つめの館として開催する同館の展示をぜひお楽しみください。

本シンポジウムは、出光美術館助成事業部（旧出光文化福祉財団）調査・研究助成「上方浮世絵における名所絵の研究」（代表・菅原真弓）の研究成果の一つとして実施いたします。